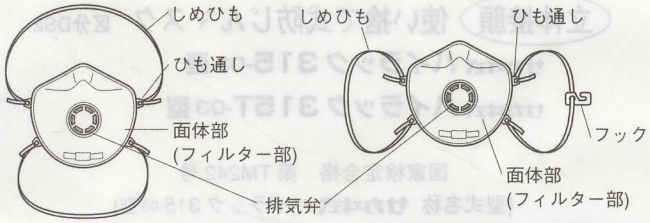
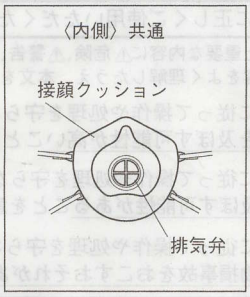
構造および各部の名称

315-03 型〈2本ひも式〉　315T-03 型〈フック式〉





使用方法

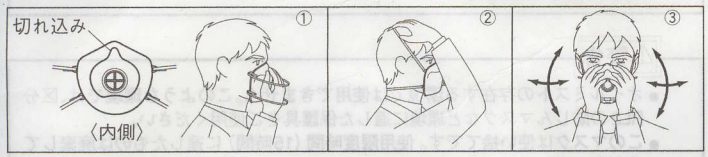
使用前の点検

必ず、下表の点検を行ってから使用を開始してください。不具合時は新しいものと交換してください。

	判　定　基　準
外　　観	破れ・著しい汚れ・湿り・型くずれなどのないこと
排　気　弁	弁のまくれがないこと
	接着面が面体からはなれていないこと
し　め　ひ　も	十分に弾力のあること
使　用　時　間	15時間に達していないこと
吸　気　抵　抗	装着時、著しい息苦しさがないこと

装着のしかた　有害物質などのない清潔な場所で行ってください。

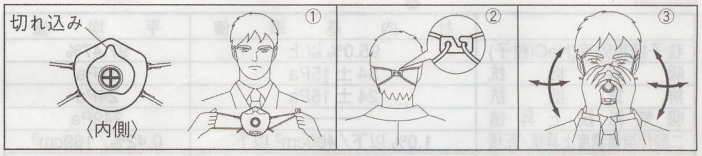
315-03 型〈2本ひも式〉



① しめひもを手の甲側に回し、マスクの内側の接顔クッションの切れ込みのある部分を鼻根に当てるようにつけます。
② しめひもを首と頭上部にかけます。
③ マスクを上下左右に動かし、顔によくなじませます。

注意：しめひもの長さが合わない場合は、マスクをいったんはずし「しめひもの調節」の項目にしたがって長さを調節してください。

315T-03 型〈フック式〉



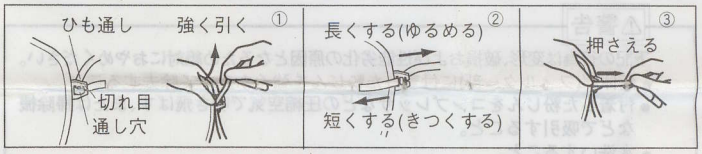
① しめひもとフックを持ち、マスクの内側の接顔クッションの切れ込みのある部分を鼻根に当てるようにつけます。
② 左右のしめひもを頭の後ろに引き、耳がしめひもの輪の中に入るようにして、フックを引っかけてとめます。
③ マスクを上下左右に動かし、顔によくなじませます。
④ はずすときは、フックをはずしてください。

注意：しめひもの長さが合わない場合は、マスクをいったんはずし「しめひもの調節」の項目にしたがって長さを調節してください。

⚠注意

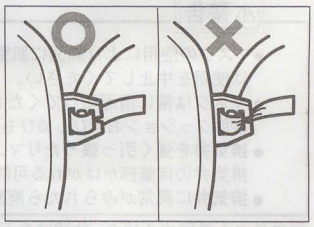
- **タオル等を当てた上からマスクを着用しないでください。**
  粉じんが面体内へもれ込む原因となります。
- **しめひもを強くしめすぎないでください。**
  フィット感が悪くなるおそれがあります。

しめひもの調節　しめひもの長さが合わない場合はマスクをいったんはずし、次の手順で調節してください。



① しめひもの先端部をひも通しの外側の通し穴からはずします。ひも通し部分をしっかり持って、ひもを持ち上げるように引き、通し穴の切れ目からはずします。
② 長さを調節します。
③ しめひもの長さを調節しましたら、通し穴へもどします。しめひもと通し穴部分をしっかり押さえ、しめひもの先端部を下に引き、切れ目から通し穴にはめ込みます。通し穴にきちんとひもが入っていないと、装着中にはずれる可能性がありますので右図を参考にして必ず確認してください。

ひもの掛けかた



密着性の良否の判定方法

接顔部の密着性の良否を確認するには、ミストスプレー式フィットテスター FIT-1型（別売）を使用し、味覚で漏れを感知する方法や、市販のマスクフィッティングテスターを使用し、漏れ率を計測して確認する方法があります。その他に、装着したマスクのフィルター部を両手で覆って息を吐き、漏れを確認する陽圧式のフィッティングテストがあります。
ただし、息を吐くことで漏れを確認する陽圧式のフィッティングテストでは、フィルター部分を手で完全に覆えない場合フィルター部からの息の漏れが生じ、密着性の良否の判定がしにくいことがありますので注意が必要です。

⚠警告

- **フィットテストは装着の都度必ず行ってください。**
  正しく装着されていないと顔面と面体のすき間から面体内へ粉じんがもれ込み、吸入してしまいます。

性能

		社内基準値	平均値
粒子捕集効率(NaCl粒子)		95.0%以上	97.47%
吸気抵抗		34±15Pa	34Pa
排気抵抗		24±15Pa	24Pa
吸気抵抗上昇値		――	249Pa
二酸化炭素濃度上昇値/死積		1.0%以下/400cm³以下	0.42%/169cm³
質量	2本ひも式	10.3±2.5g	10.3g
	フック式	10.8±2.5g	10.8g
ぬれ抵抗値		――	24Pa

漏れ率

	唇の幅(cm)	鼻根おとがい距離(cm)	漏れ率(%)	
被験者	規定	規定	2点ひも式	フック式
A	3.5以上 4.5未満	10.5以上 11.5未満	0.44	0.48
B	3.5以上 4.5未満	11.5以上 12.5未満	0.28	0.32
C	3.5以上 4.5未満	12.5以上 13.5未満	0.26	0.36
D	4.5以上 5.5未満	10.5以上 11.5未満	0.42	0.40
E	4.5以上 5.5未満	11.5以上 12.5未満	0.26	0.38
F	4.5以上 5.5未満	12.5以上 13.5未満	0.30	0.40
G	4.5以上 5.5未満	13.5以上 14.5未満	0.50	0.54
H	5.5以上 6.5未満	11.5以上 12.5未満	0.10	0.18
I	5.5以上 6.5未満	12.5以上 13.5未満	0.20	0.22
J	5.5以上 6.5未満	13.5以上 14.5未満	0.14	0.18

使用上の注意

⚠警告

下記の行為は変形、破損および性能劣化の原因となるため絶対におやめください。
- 面体部(フィルター部)に付着した粉じんを強くたたいて除去すること。
- 付着した粉じんをコンプレッサなどの圧縮空気で吹き飛ばす、または掃除機などで吸引すること。
- 水洗いすること。

⚠警告

- マスクの使用により顔面に肌荒れ、湿疹などのアレルギー症状を起こす場合は使用を中止してください。
- マスクは常に清潔にしてください。
  接顔クッションおよびしめひもに汚れがある場合は、かぶれの原因となります。
- 排気弁を強く引っ張ったりマスク自体を折り曲げたりしないでください。
  排気弁の接着部がはがれる可能性があります。
- 排気弁に異常がみられたら廃棄してください。排気弁の交換はできません。

◎マスクを着脱する場合、休憩時などで一時はずして置いておく場合は、マスク内側に粉じん等が入らないよう清潔な場所で行ってください。
◎使用中は何時間使用したかをよく把握してください。
◎廃棄にあたっては、フィルターに付着した粉じんが再飛散しないように袋等に詰めて廃棄してください。

保管方法

乾燥した状態で直射日光、ほこり、有毒ガス、高温多湿などを避け、なるべく冷暗所で保管してください。

興研株式会社 本社 〒102-8459 東京都千代田区四番町7番地
☎03(5276)1911(大代表) FAX03(3261)0589

商品に関するお問い合わせは、本社もしくは、最寄りの営業所までお願いいたします。

営業所

北海道	011(832)3911	東京	03(5276)8063	倉敷	086(423)2321
仙台	022(225)3791	横浜	045(242)6566	広島	082(283)7880
新潟	025(286)5250	名古屋	052(842)1722	新居浜	0897(34)8927
千葉	043(293)0411	大阪	06(6326)9223	九州	0942(38)1651
熊谷	048(524)2928	神戸	078(511)0414	長崎	095(844)8406

2004年12月現在
PM KP D-248

取扱説明書

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、内容を十分にご理解ください。
- その後も手元に置き、ご使用中に不明な点がございましたら、その都度内容をご確認ください。

立体接顔 使い捨て式防じんマスク 区分DS2

サカヰ式 ハイラック315-03型

サカヰ式 ハイラック315T-03型

国家検定合格 第TM242号
[型式名称 サカヰ式 ハイラック315-03型]

安全に正しくご使用いただくために

この取扱説明書は、安全上重要な内容に⚠危険、⚠警告、⚠注意を記載しています。以下が定義ですので、内容をよく理解したうえ、本文をお読みください。

⚠危険 … 記述内容に従って操作や処理を守らないと生命、身体に重大な被害を及ぼす可能性が高いことを意味します。

⚠警告 … 記述内容に従って操作や処理を守らないと生命、身体に重大な被害を及ぼす可能性があることを意味します。

⚠注意 … 記述内容に従って操作や処理を守らないと身体に軽微な被害または物損事故をおこすおそれがあることを意味します。

使用の範囲

本品は、粉じんなどの吸入を防ぐために使用する防じんマスクです。オイルミストの存在しない、次の作業で使用できます。
- 金属のヒューム（溶接ヒュームを含む）を発散する場所における作業。
- 管理濃度が0.1mg/m³以下の物質の粉じんなどを発散する場所における作業。
- これらに準ずる作業。

ただし、下記「⚠危険」、「⚠警告」の環境では使用しないでください。

⚠危険

- 酸素欠乏環境（酸素濃度が18%未満）、有毒ガス環境では、絶対に使用しないでください。
  酸素欠乏症・ガス中毒のため、死亡もしくは急性障害などになります。
  このような環境では送気マスクなどをご使用ください。
- 「放射性物質がこぼれたときなどによる汚染のおそれがある区域内の作業または緊急作業」、「ダイオキシン類等の曝露のおそれがある作業」、「これらに準ずる作業」では使用できません。
  このような環境では、区分RS3、RL3の防じんマスクなど環境に適した保護具をご使用ください。

⚠警告

- オイルミストの存在する環境では使用できません。このような環境では、区分RL2の防じんマスクなど環境に適した保護具をご使用ください。
- このマスクは使い捨てです。使用限度時間（15時間）に達したものは廃棄してください。
  また、使用時間内であっても収縮、破損もしくは著しい型くずれを起こした場合、または目詰まりによって作業に支障をきたすような息苦しさが認められた場合は新しいものと交換してください。
- 火花、スパッタが面体に当たる場合は使用できません。
  面体部の破損などにより粉じんを吸入するおそれがあります。